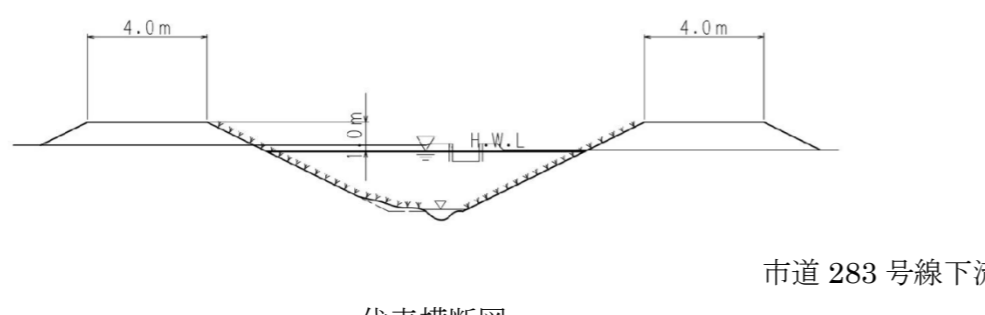
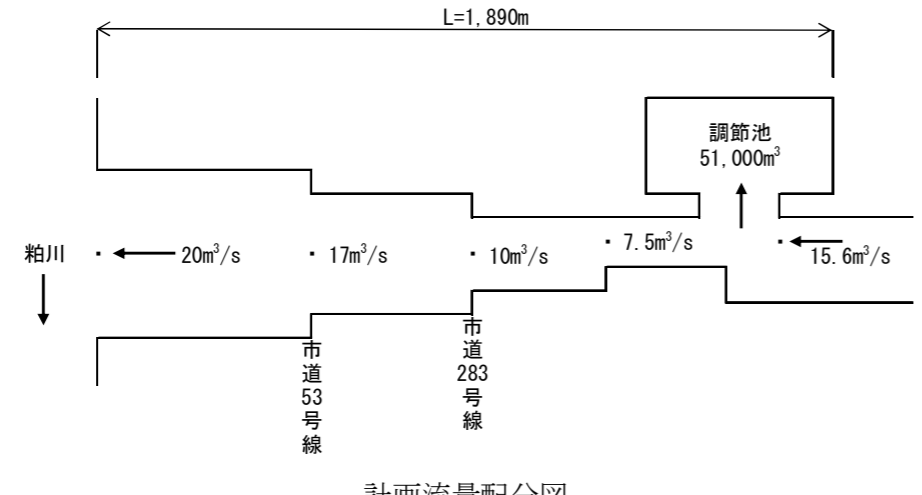
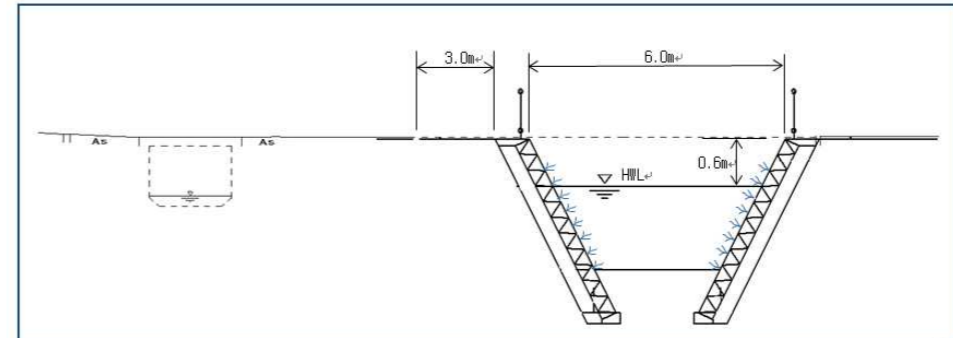
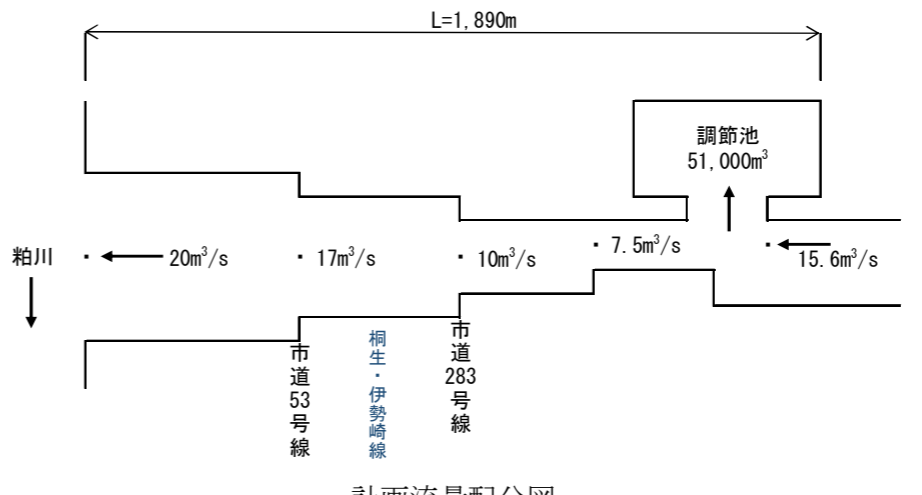
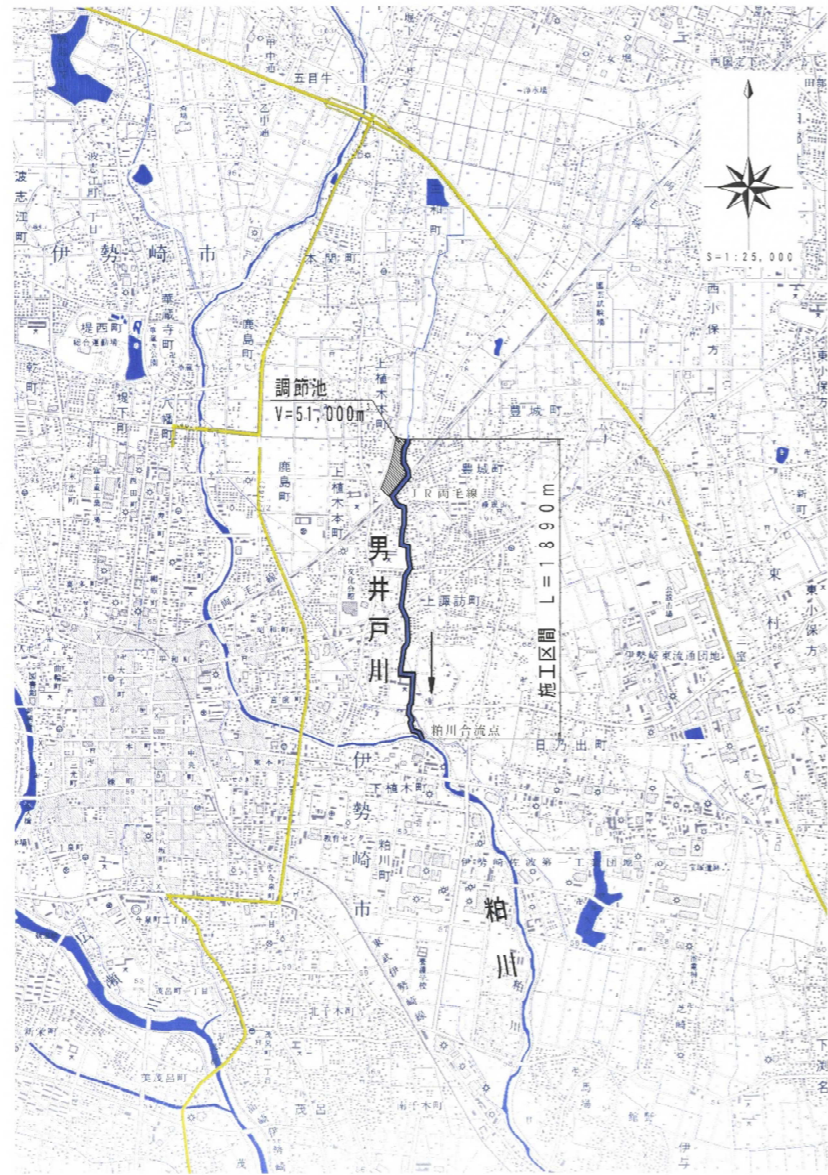
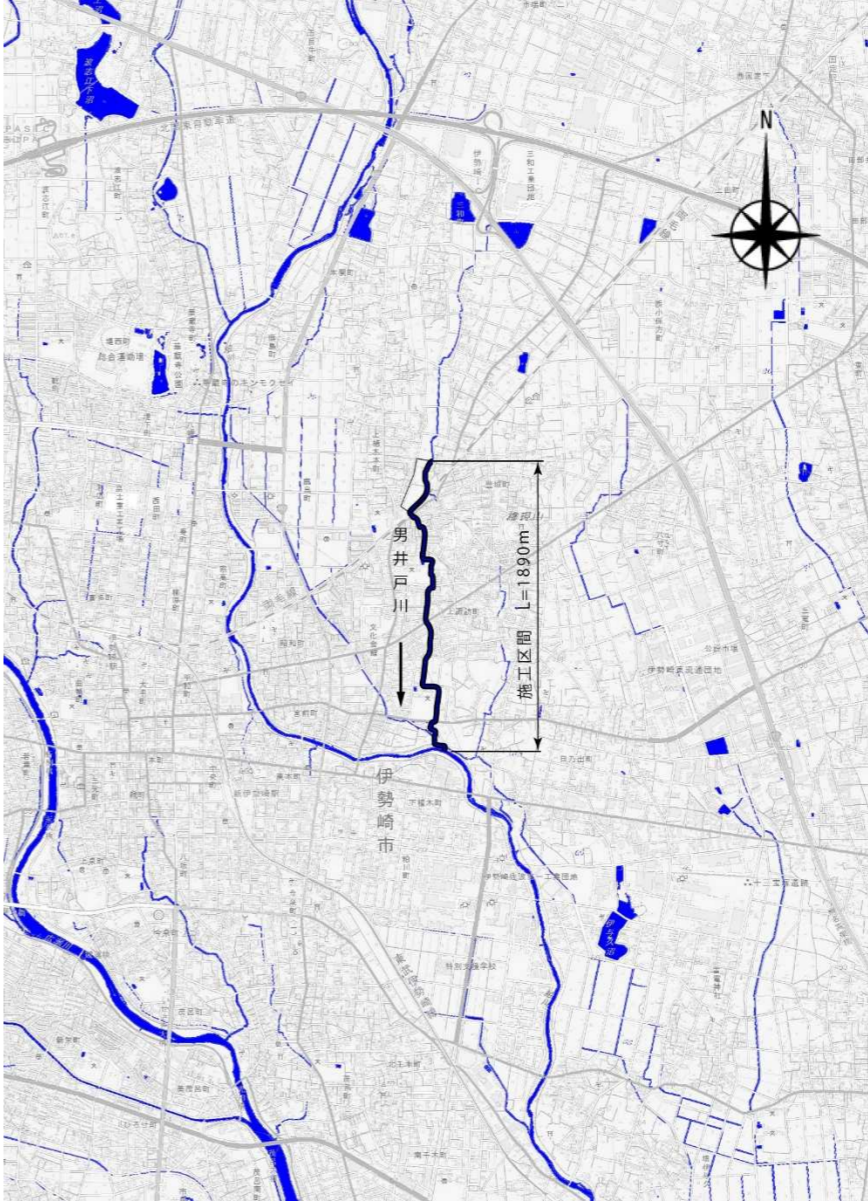
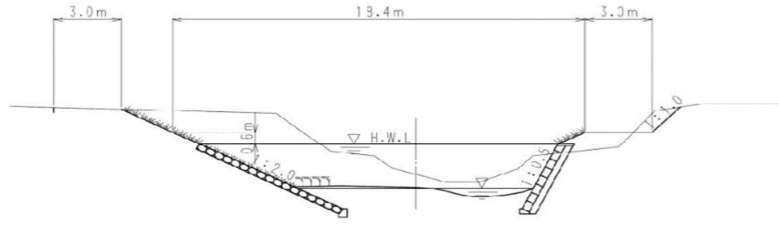
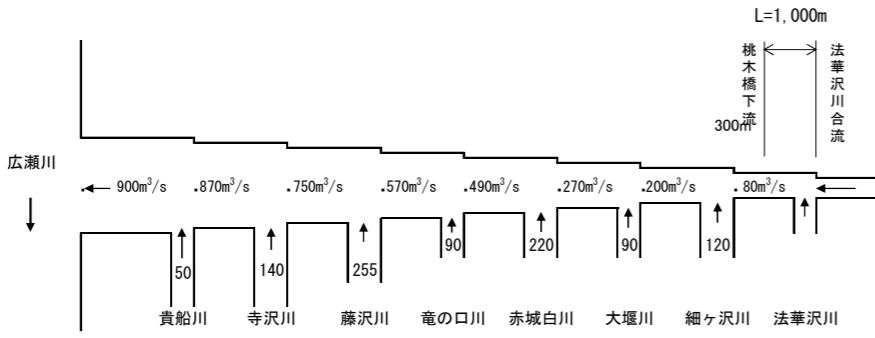
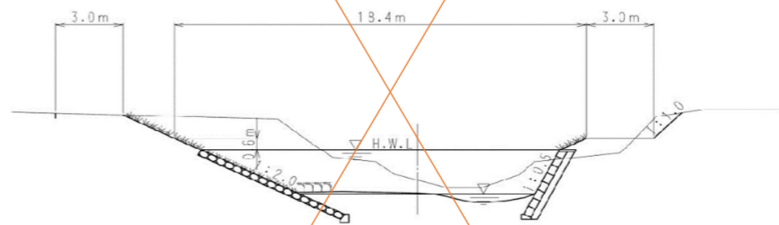
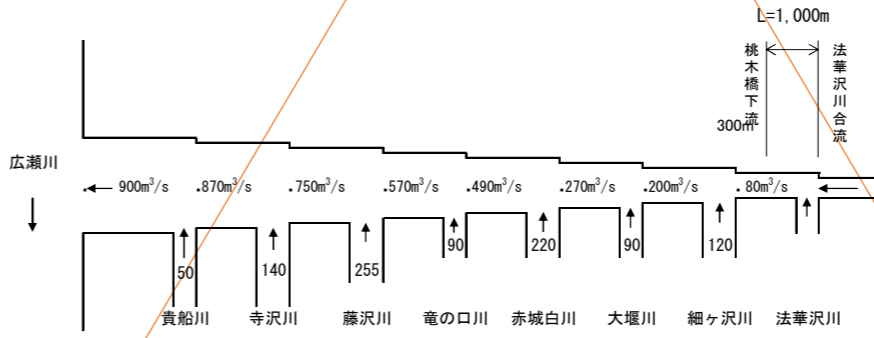
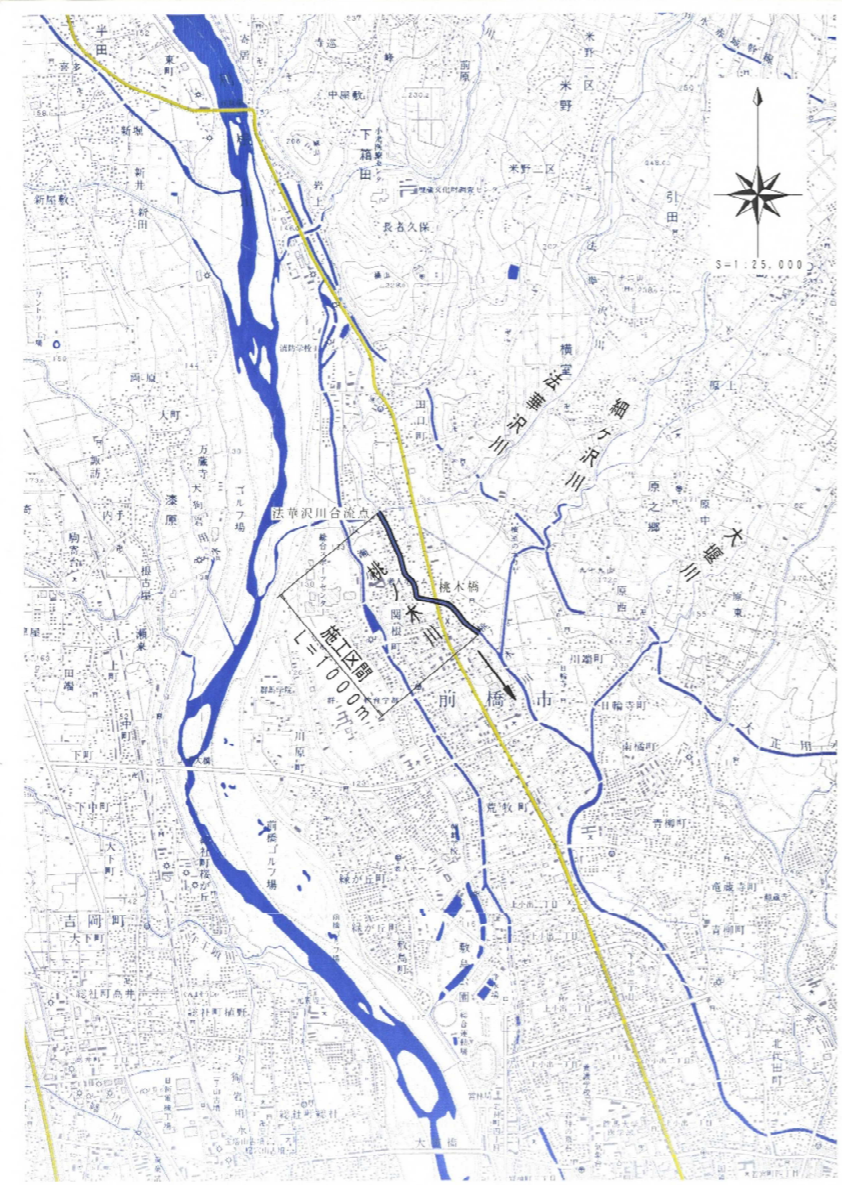
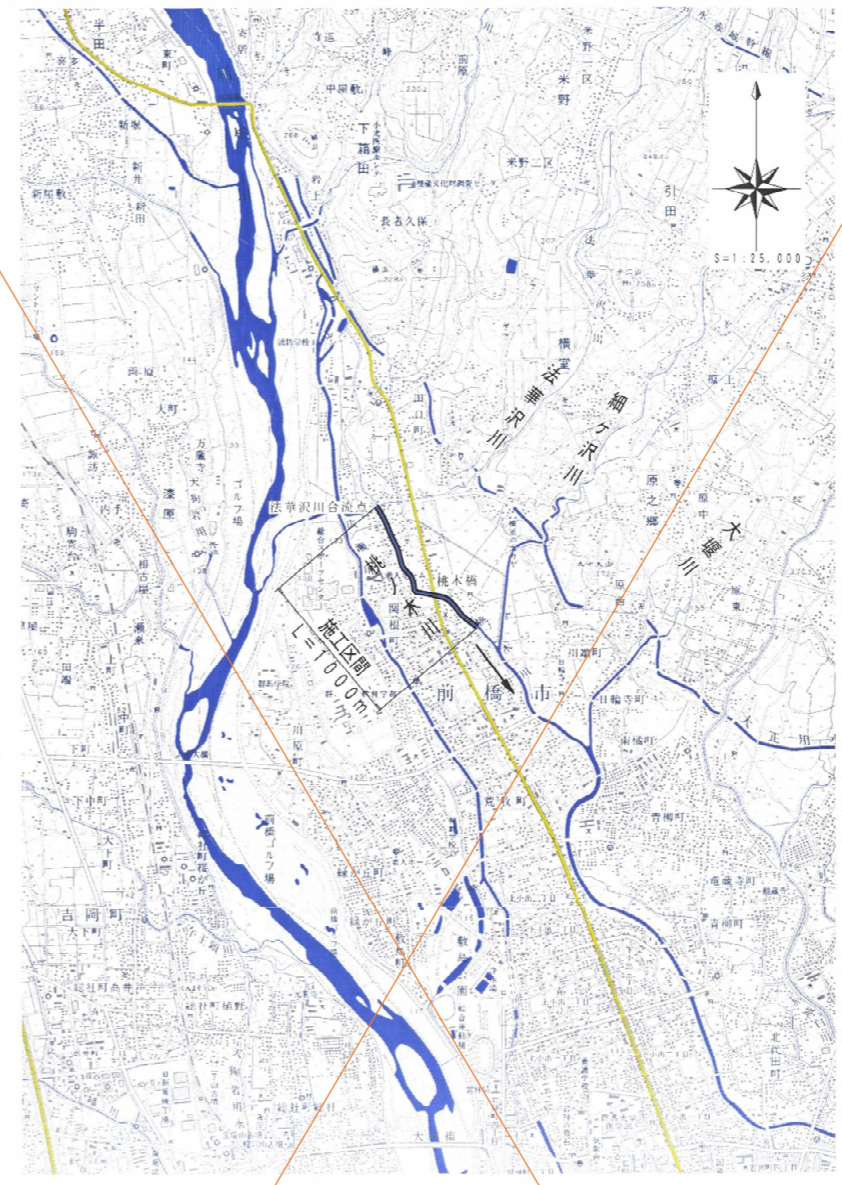

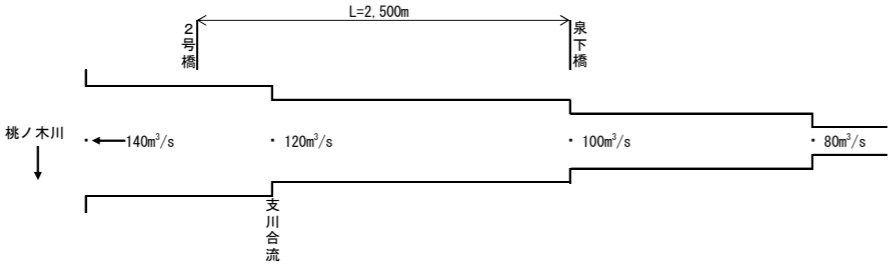
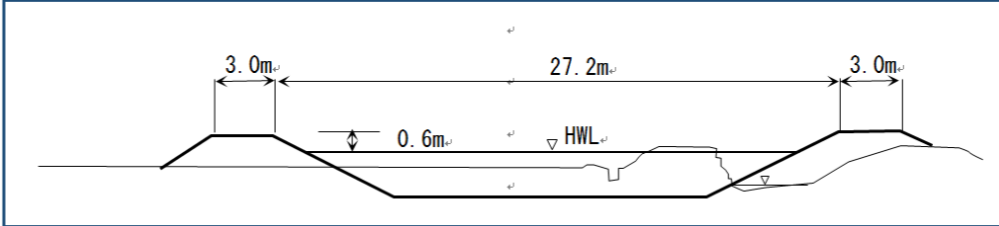
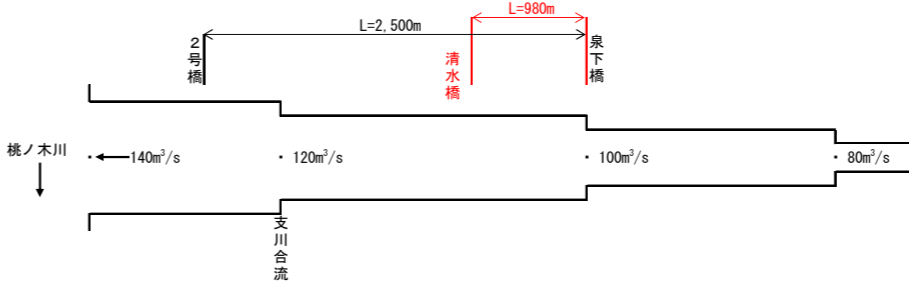


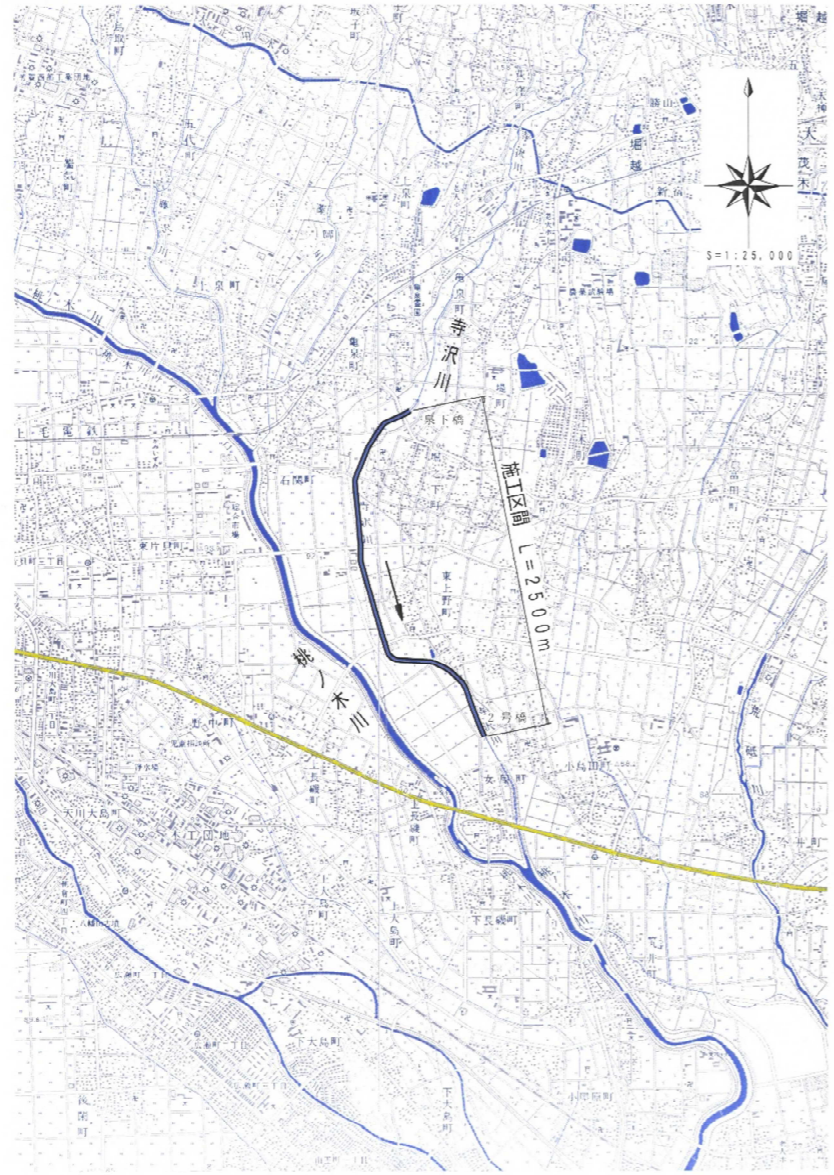
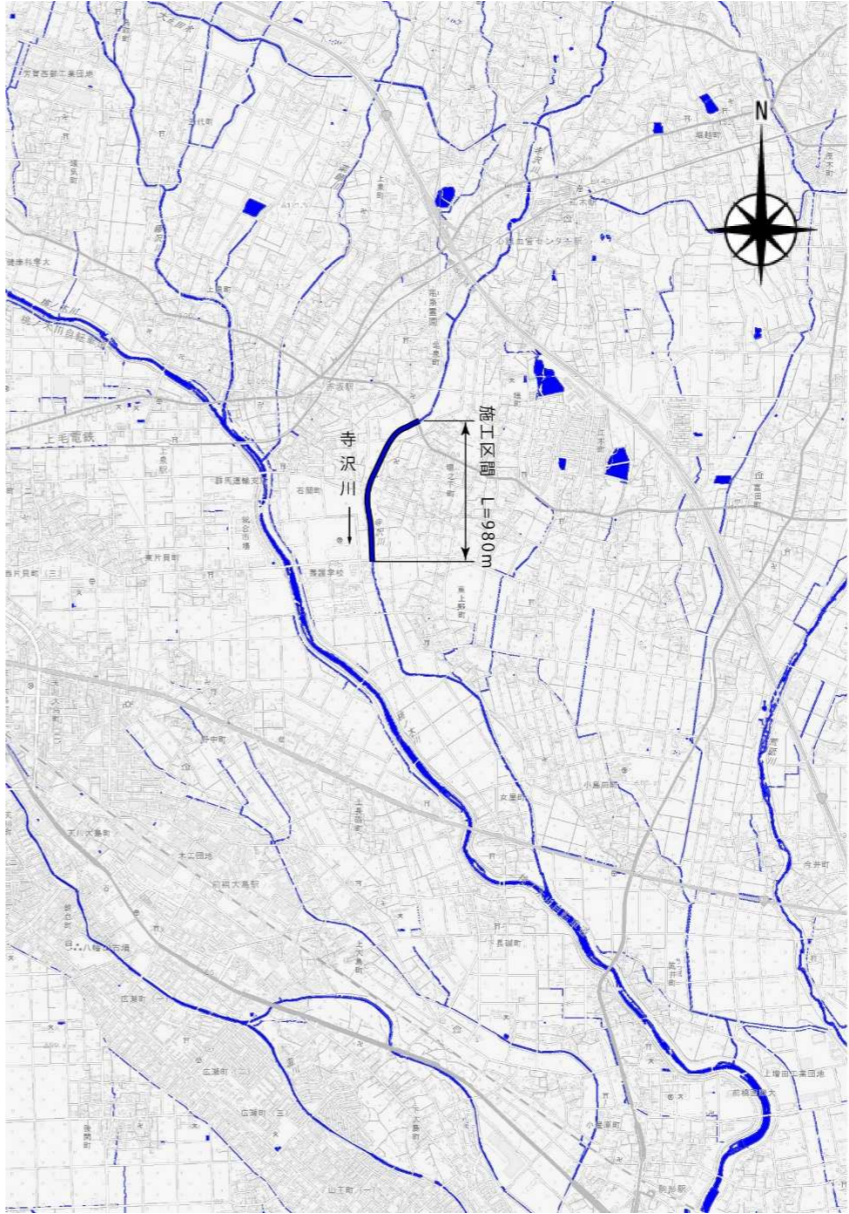
| 項目 | 当初（平成 20 年 6 月） | 変更素案（平成 26 年 10 月） | 備考 |
|----|--|---|------------------------------------|
| | <p>[男井戸川]</p> <p>男井戸川は、伊勢崎市の宅地化の進む田園地帯を流れる河川であるが、未改修の用水河川であり、現況断面が狭小なため、小規模な出水でも河川周辺の住宅や道路、小学校などで浸水被害が発生している。</p> <p>このため、河道拡幅と調節池を実施することにより、概ね10年に1回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。</p> <p>本整備区間は市街地を流れることから、親水性を要する箇所は河岸勾配1：2.0を基本に、芝付き護岸や隠し護岸等で整備する。また、川らしさの回復のため、河川が有している自然の復元力を活用して実施可能な範囲で河床部を極力広く確保することに努める。なお、各横断面の河岸勾配については、箇所ごとの特性にあわせて定めることとし、地域住民との協働により周辺の景観や生活環境との調和に配慮した整備をする。</p> <p>施工区間 粕川合流地点～J R 両毛線交差部上流 延 長 L = 1, 8 9 0 m 整備内容 築堤工、護岸工、掘削工、調節池</p>   | <p>[男井戸川]</p> <p>男井戸川は、伊勢崎市の宅地化の進む田園地帯を流れる河川であるが、未改修の用水河川であり、現況断面が狭小なため、小規模な出水でも河川周辺の住宅や道路、小学校などで浸水被害が発生している。</p> <p>このため、河道拡幅と調節池を実施することにより、概ね10年に1回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。</p> <p>改修断面は沿川の宅地化により制約を受けることから1：0.5勾配の護岸とするが、環境に配慮したブロックなどを用いて景観に配慮した整備を行う。</p> <p>なお、各横断面の河岸勾配については、箇所ごとの特性にあわせて定めることとし、地域住民との協働により周辺の景観や生活環境との調和に配慮した整備をする。</p> <p>施工区間 粕川合流地点～J R 両毛線交差部上流 延 長 L = 1, 8 9 0 m 整備内容 築堤工、護岸工、掘削工、調節池</p>   | <p>事業の進捗や実態を反映</p> <p>標準横断面を変更</p> |

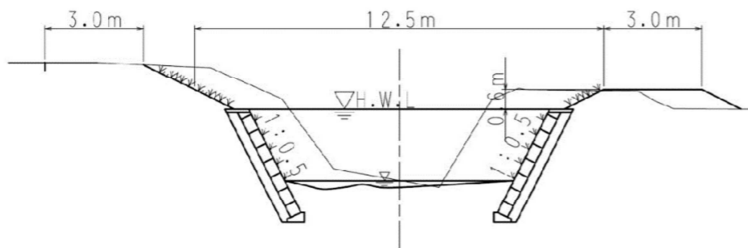
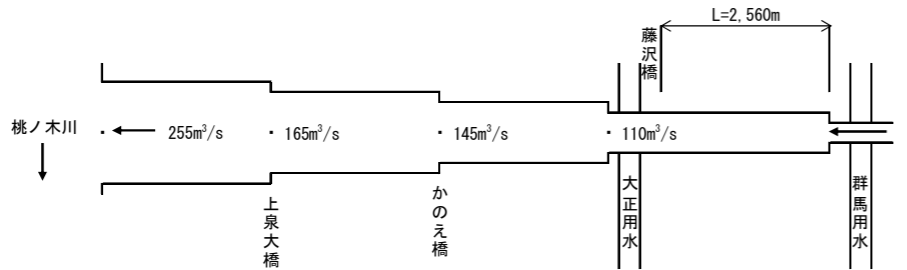
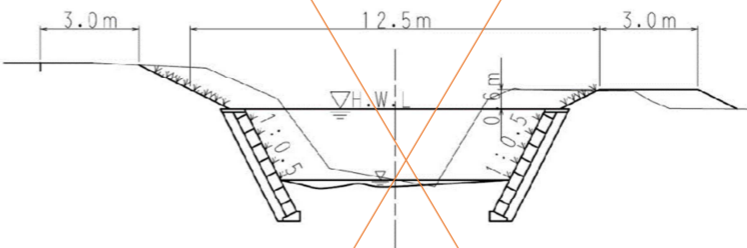
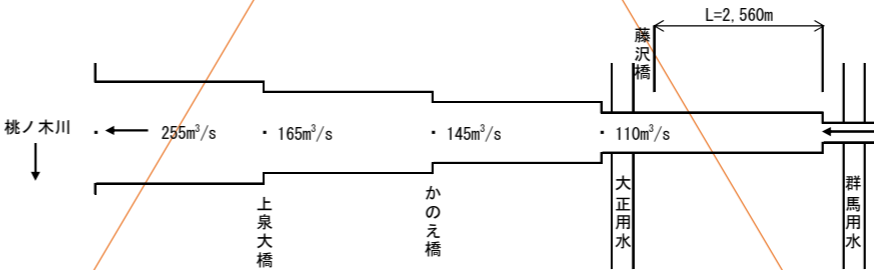
| 項目 | 当初（平成 20 年 6 月） | 変更素案（平成 26 年 10 月） | 備考 |
|----|---|--|-----------------|
| |  |  | <p>事業の進捗を反映</p> |

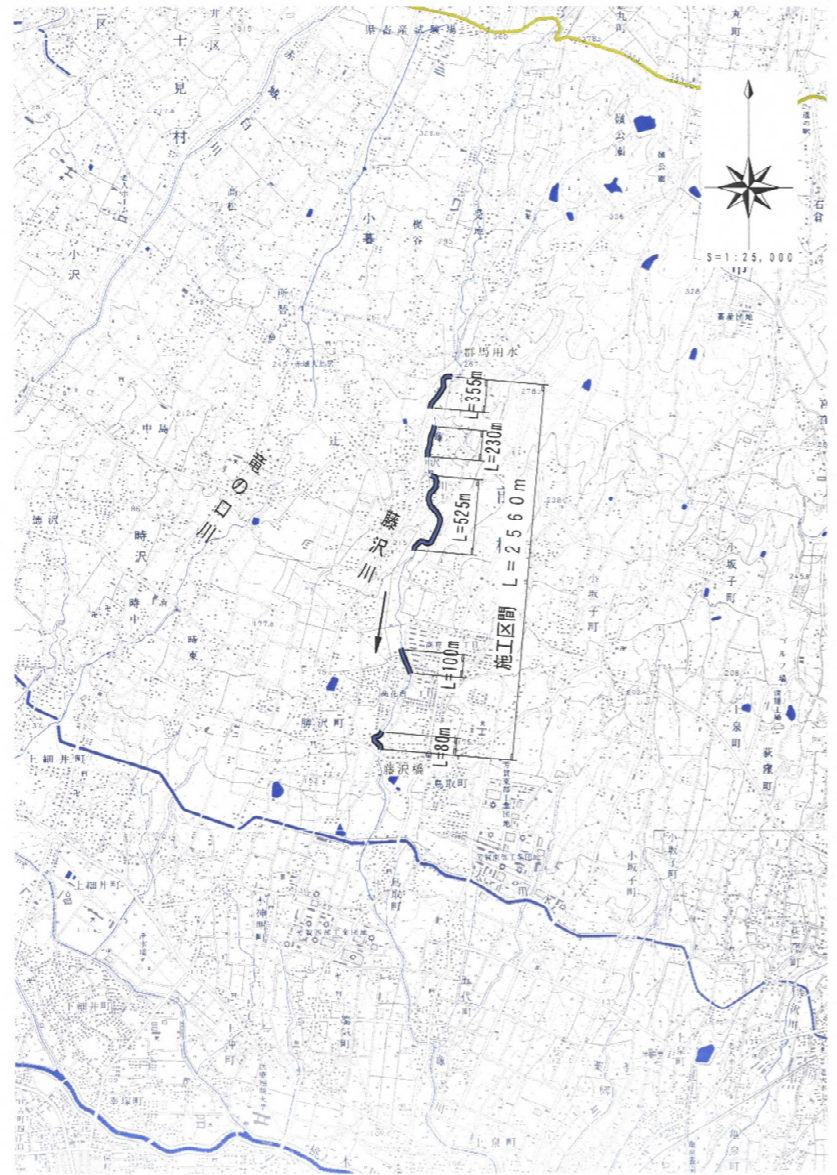
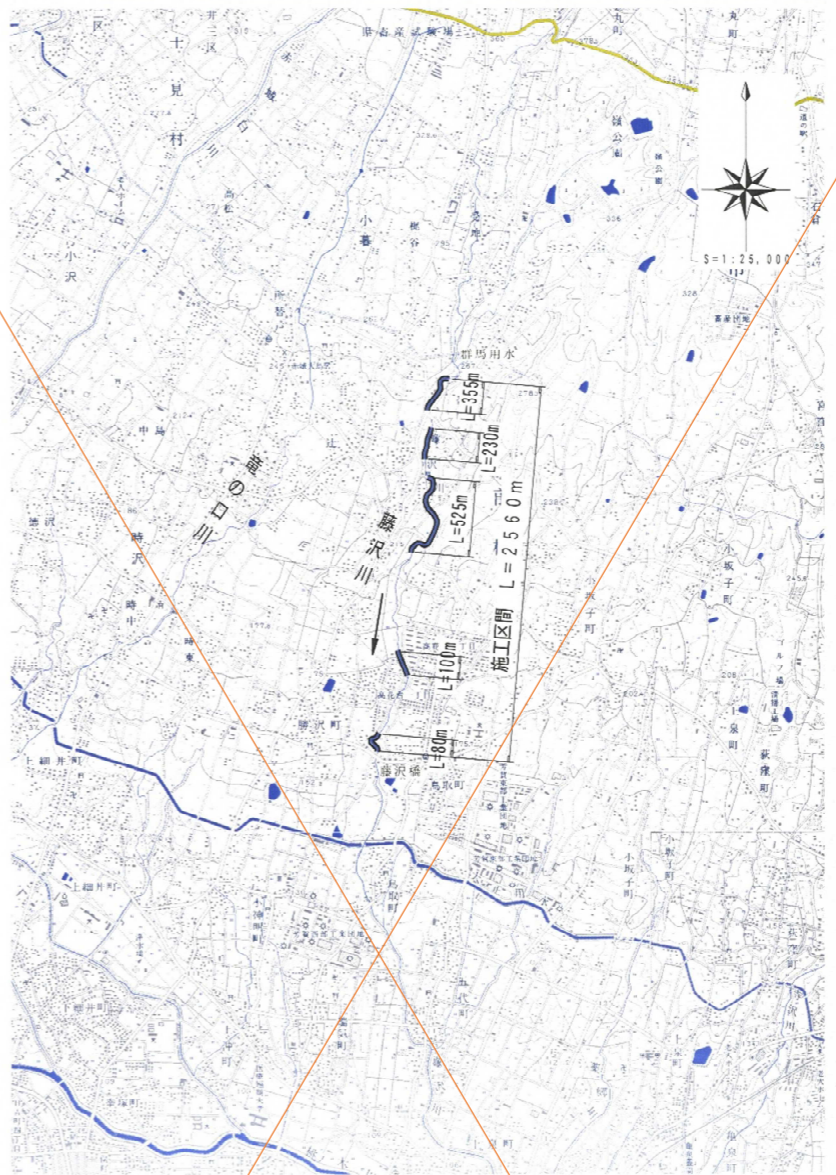
| 項目 | 当初（平成 20 年 6 月） | 変更素案（平成 26 年 10 月） | 備考 |
|----|--|--|------------------------|
| | <p>[桃ノ木川]</p> <p>桃ノ木川は、前橋市田口町から市内中心部を流下し広瀬川に合流する一級河川である。</p> <p>改修は昭和 30 年代から進められており、未改修部分は法華沢川合流点までの約 1,000m であるが、この区間には国道 17 号などの基盤施設があり、また現在区画整理事業などの開発も行われていることから、沿川地域の治水安全度を向上させることが急務となっている。</p> <p>このため、河道拡幅を実施することにより、概ね 100 年に 1 回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。</p> <p>改修断面は親水性、植物の生育に配慮し、1 : 2.0 勾配および 1 : 0.5 勾配の護岸の組み合わせとし、自然石や河岸の緑化を目指したブロック工を用いて整備を行う。</p> <p>施工区間 桃木橋（国道 17 号）下流 300m～法華沢川合流点 延 長 L = 1,000m 整備内容 護岸工、掘削工</p>  <p style="text-align: right;">桃木橋上流</p> <p style="text-align: center;">代表横断面図</p>  <p style="text-align: center;">計画流量配分図</p> | <p>[桃ノ木川]</p> <p>桃ノ木川は、前橋市田口町から市内中心部を流下し広瀬川に合流する一級河川である。</p> <p>改修は昭和 30 年代から進められており、未改修部分は法華沢川合流点までの約 1,000m であるが、この区間には国道 17 号などの基盤施設があり、また現在区画整理事業などの開発も行われていることから、沿川地域の治水安全度を向上させることが急務となっている。</p> <p>このため、河道拡幅を実施することにより、概ね 100 年に 1 回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。</p> <p>改修断面は親水性、植物の生育に配慮し、1 : 2.0 勾配および 1 : 0.5 勾配の護岸の組み合わせとし、自然石や河岸の緑化を目指したブロック工を用いて整備を行う。</p> <p>施工区間 桃木橋（国道 17 号）下流 300m～法華沢川合流点 延 長 L = 1,000m 整備内容 護岸工、掘削工</p>  <p style="text-align: right;">桃木橋上流</p> <p style="text-align: center;">代表横断面図</p>  <p style="text-align: center;">計画流量配分図</p> | <p>平成 24 年度完了のため削除</p> |

| 項目 | 当初（平成 20 年 6 月） | 変更素案（平成 26 年 10 月） | 備考 |
|----|--|--|------------------------|
| |  <p>Map showing the initial plan for the construction area (施工区画) in Maebashi City, Japan, as of June 2010. The map displays the river course and surrounding urban areas. A scale of 1:25,000 is indicated. The construction area is highlighted in blue and yellow.</p> |  <p>Map showing the revised proposal for the construction area (施工区画) in Maebashi City, Japan, as of October 2014. The map displays the river course and surrounding urban areas. A scale of 1:25,000 is indicated. The construction area is highlighted in blue and yellow. The map is crossed out with a large orange X, indicating its removal.</p> | <p>平成 24 年度完了のため削除</p> |

| 項目 | 当初（平成 20 年 6 月） | 変更素案（平成 26 年 10 月） | 備考 |
|----|---|---|-------------------------------------|
| | <p>[寺沢川]</p> <p>寺沢川は、前橋市大胡町から流下して桃ノ木川に合流する一級河川である。</p> <p>寺沢川の中流域では、文教施設等の集積を図る学園都市整備区域があり、県立高校等の移転や高等職業訓練校などが開校しており、また、上流域においては国道 17 号バイパス（上武国道）の整備も行われていることから、沿川の治水安全度を向上することが急務となっている。</p> <p>このため、河道拡幅と築堤を実施することにより、概ね 10 年に 1 回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。</p> <p>改修断面は親水性、植物の生育に配慮し、1：2.0 勾配の護岸とする。護岸は植生シートなどにより植物の生育を促し、水際は自然石や木を使用して多様な流れをつくり出す工夫をし、生態系に配慮した整備を行う。</p> <p>施工区間 2号橋（市道）～泉下橋（県道） 延 長 L = 2,500m 整備内容 築堤工、護岸工、掘削工</p>  <p style="text-align: right;">市道 2 号橋上流</p> <p style="text-align: center;">代表横断面</p>  <p style="text-align: center;">計画流量配分図</p> | <p>[寺沢川]</p> <p>寺沢川は、前橋市大胡町から流下して桃ノ木川に合流する一級河川である。</p> <p>寺沢川の中流域では、文教施設等の集積を図る学園都市整備区域があり、県立高校等の移転や高等職業訓練校などが開校しており、また、上流域においては国道 17 号バイパス（上武国道）が整備されていることから、沿川の治水安全度を向上することが急務となっている。</p> <p>このため、河道拡幅と築堤を実施することにより、概ね 10 年に 1 回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。</p> <p>改修断面は親水性、植物の生育に配慮し、1：2.0 勾配の護岸とする。法面はジオテキスタイルで覆土した護岸を基本として植物の生育を促し、水際は捨て石や寄せ土を用いて多様な流れをつくり出す工夫をし、生態系に配慮した整備を行う。</p> <p>施工区間 清水橋（市道）～泉下橋（県道） 延 長 L = 980m 整備内容 築堤工、護岸工、掘削工</p>  <p style="text-align: right;">清水橋上流</p> <p style="text-align: center;">代表横断面</p>  <p style="text-align: center;">計画流量配分図</p> | <p>事業の進捗や実態を反映</p> <p>標準横断面図を変更</p> |

| 項目 | 当初（平成 20 年 6 月） | 変更素案（平成 26 年 10 月） | 備考 |
|----|---|--|-----------------|
| |  |  | <p>事業の進捗を反映</p> |

| 項目 | 当初（平成 20 年 6 月） | 変更素案（平成 26 年 10 月） | 備考 |
|----|---|---|------------------------|
| | <p>[藤沢川]</p> <p>藤沢川は、勢多郡富士見村の赤城山系鍋割山に源を発し、赤城山南面を流下して前橋市中央部で桃ノ木川に合流する一級河川である。</p> <p>赤城山南面地域の降雨はこの藤沢川に流入するが、河道断面が狭小な急流河川であるため、早急に沿川における人家、農地等への氾濫を防止する必要がある。</p> <p>このため、河道拡幅と築堤を実施することにより、概ね5年に1回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。</p> <p>改修断面は沿川の宅地化により制約を受けることから1：0.5勾配の護岸とするが、河岸の緑化を目指したブロック工などを用いて景観に配慮した整備を行う。</p> <p>なお、本整備区間より下流は小規模河川改修事業や災害関連事業、河川局改良事業により改修済みである。</p> <p>施工区間 藤沢橋（県道）～群馬用水下流 延長 L = 2,560m 整備内容 築堤工、護岸工、掘削工</p>  <p style="text-align: right;">藤沢橋上流</p> <p style="text-align: center;">代表横断面図</p>  <p style="text-align: center;">計画流量配分図</p> | <p>[藤沢川]</p> <p>藤沢川は、勢多郡富士見村の赤城山系鍋割山に源を発し、赤城山南面を流下して前橋市中央部で桃ノ木川に合流する一級河川である。</p> <p>赤城山南面地域の降雨はこの藤沢川に流入するが、河道断面が狭小な急流河川であるため、早急に沿川における人家、農地等への氾濫を防止する必要がある。</p> <p>このため、河道拡幅と築堤を実施することにより、概ね5年に1回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。</p> <p>改修断面は沿川の宅地化により制約を受けることから1：0.5勾配の護岸とするが、河岸の緑化を目指したブロック工などを用いて景観に配慮した整備を行う。</p> <p>なお、本整備区間より下流は小規模河川改修事業や災害関連事業、河川局改良事業により改修済みである。</p> <p>施工区間 藤沢橋（県道）～群馬用水下流 延長 L = 2,560m 整備内容 築堤工、護岸工、掘削工</p>  <p style="text-align: right;">藤沢橋上流</p> <p style="text-align: center;">代表横断面図</p>  <p style="text-align: center;">計画流量配分図</p> | <p>平成 22 年度完了のため削除</p> |

| 項目 | 当初（平成 20 年 6 月） | 変更素案（平成 26 年 10 月） | 備考 |
|----|---|---|------------------------|
| |  <p>Topographic map showing the initial plan for a construction project. The map includes a scale of 1:25,000, a north arrow, and a construction area with dimensions: L=2560m, L=355m, L=230m, L=625m, L=100m, and L=80m. The area is labeled '施工区画' (Construction Area).</p> |  <p>Topographic map showing the revised proposal for the construction project. The map is identical to the initial plan but is crossed out with a large orange 'X', indicating that the plan was cancelled.</p> | <p>平成 22 年度完了のため削除</p> |